

学校評価アンケート結果まとめ＜令和３年度・第２回実施分＞

◎生徒への質問

	質問内容
1	先生は、授業の中で「ねらい」を明確にしている。
2	先生は、授業の終わりに「振り返り」をしている。
3-1	（２・３年生への質問）英語と数学の授業は、先生が２人いることで、より分かりやすく指導している。
3-2	（全学年への質問）先生は、授業などでタブレットやパソコンなどを活用して指導している。
4	自分は、毎日授業以外に学習をしている。（家庭学習など）
5	学校は、花があり、掲示物がきれいに整理されている。
6	自分は、来校者に対して自分からあいさつしている。
7	自分は、奉仕・福祉活動（花植え作業、除草作業、ボランティア活動や高齢者、障害をもつ人々との交流など）に興味・関心がある。
8	道徳の授業では、自分のことを見つめ直すことができる。
9	自分は、行事に対して積極的に取り組んでいる。
10	学校・学年・学級は、いじめの未然防止の取組を行っている。
11	自分は、学校生活の約束事は守っている。
12	自分は、朝ご飯を毎日食べている。
13	自分は、学級の中で誰とでも話することができる。
14	自分は、部活動に一生懸命取り組んでいる。（取り組んだ。）
15	自分は、自分の進路について考えている。
16	学校は、アルカス運動（学校の奉仕活動）や奉仕活動が行われ、地域に貢献している。
17	防災に関する学習を通して、災害時の対応を考えている。

Q3-1は２・３年生のみ対象。未回答は集計から省略しています。

生徒アンケート結果より

【肯定的傾向の回答の割合が高かった項目（90%以上）】
（肯定的傾向：「そう思う」「おおよそそう思う」）
１回目と同様に、90%を超える項目はありませんでした。

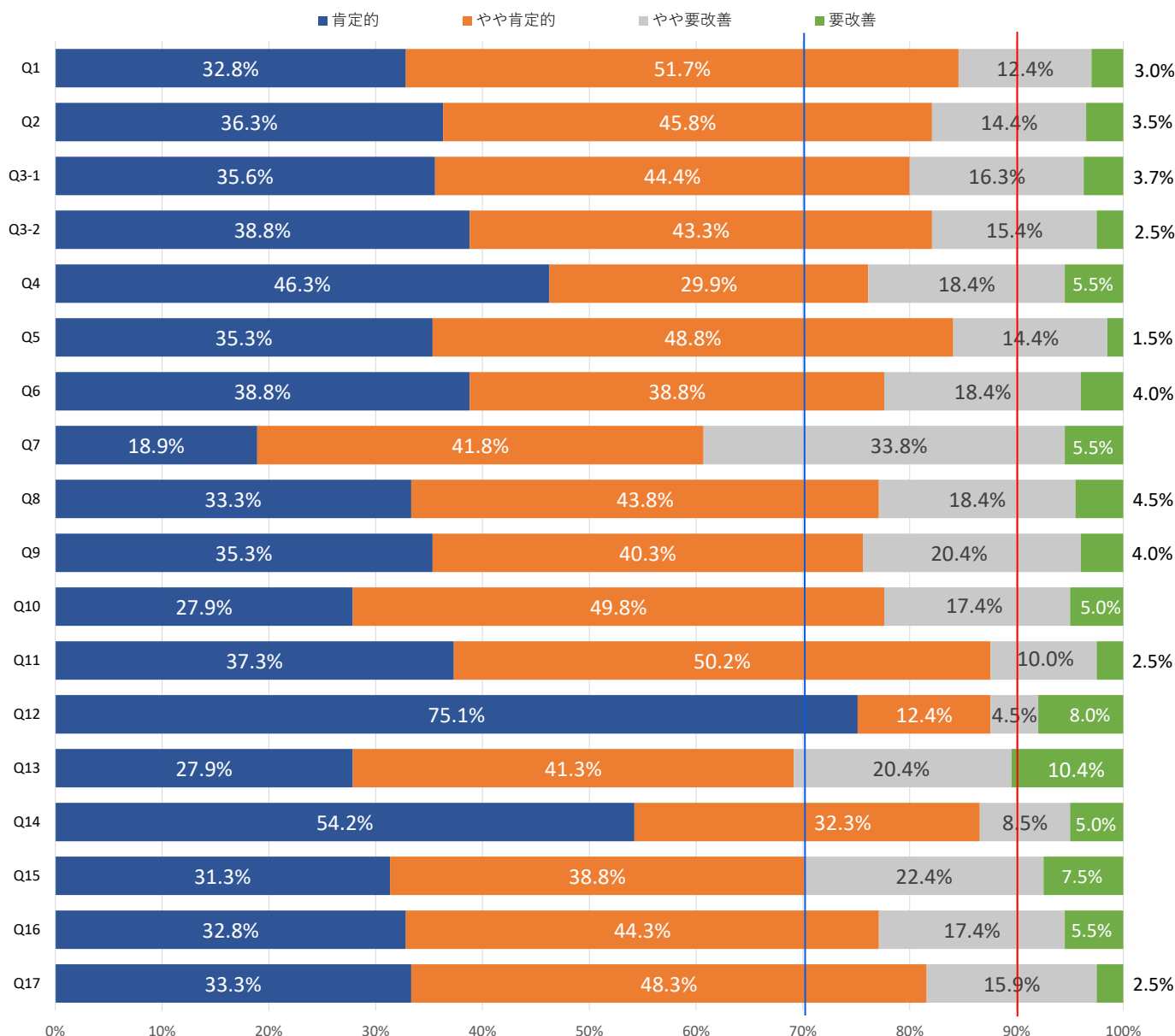
【肯定的傾向の回答が比較的高かった項目（85%以上）】
Q11：「学校生活の約束事を守っているか」
Q12：「朝ご飯を毎日食べているか」
Q14：「部活動への取り組み」

【肯定的傾向の回答の割合が低かった項目（70%以下）】
Q7：「奉仕・福祉活動への興味・関心があるか」
Q13：「学級の中で誰とでも話することができるか」
１回目は３項目ありましたが、１項目減り、また残り２項目もポイントが増えて、改善が見られました。

１回目と比較するとQ4「授業以外の学習への取組」、Q6「来校者への挨拶」、Q7「奉仕・福祉活動への興味・関心」、Q10「いじめの未然防止」、Q15「進路についての考えて」、Q17「災害時の対応」は大幅にポイントが上がり、２学期の学習や行事を通じて、「取り組めた・改善できた」と感じられた生徒が増えたと考えられます。

学校評価アンケート結果（対象：全学年生徒）

項目別回答割合



学校評価アンケート結果まとめ<令和3年度・第2回実施分>

◎保護者への質問

	質問内容
1	教師は、授業の中で「ねらい」を明確にし、生徒が授業の見通しをもち主体的に取り組めるようにしている。
2	教師は、授業の終わりにねらいに沿った「振り返り」を行い、学びの実感をもてるようにしている。
3-1	(2・3年生保護者への質問) 2・3年生の英語と数学で複数教師による指導を実施し、一人一人の学びの実感に応じた指導をしている。
3-2	(全学年保護者への質問) 教師は、授業などで「タブレット(1人1台端末)」等のICT機器を活用して指導している。
4	学校は、自ら学習に取り組む生徒を育成している。
5	学校は、花があり、掲示物が整理され、学びの環境を大切にしている。
6	学校は、挨拶や礼儀をきちんと指導している。
7	学校は、福祉教育活動(花植えや除草活動、奉仕活動等)を計画し、生徒に取り組む機会を与えている。
8	学校は、道徳の授業や学校生活等において、道徳性の育成を行っている。
9	学校は、行事において生徒の実行委員会を組織し、達成感や自己有用感が高められるようにしている。
10	学校は、不登校やいじめが発生したときは速やかに対応している。また、いじめの未然防止の取組を行っている。
11	学校は、当たり前のことが当たり前にできるように、全職員で共通理解をして生徒指導を行っている。
12	学校は、給食活動を基本とした食育を推進し、食の大切さを理解させている。
13	学校は、話し合いや係活動の活性化を図り、望ましい人間関係のある学級経営を行っている。
14	学校は、部活動において保護者と連携を図り、よりきめ細やかな運営を行っている。
15	学校は、計画的に進路指導を行っている。
16	学校は、アルカス運動や奉仕活動が実施できるように支援している。
17	学校は、防災教育を推進し、防災意識の向上を図り、災害時の対応を考えている。
18	学校は、タブレットやスマホなどの使い方やネット等の依存に対して指導を行っている。

Q3-1は2・3年生の保護者のみ対象。

未回答は集計から省略しています。

保護者アンケート結果より

今回も新型コロナウイルス感染拡大防止のために、保護者の皆様に一斉に來校していただく機会を設けることができない状況が続く中でのアンケート実施となりました。三者面談の機会や学校からのお便り、電話でのやり取り、お子さんの様子から評価していただくため、評価が難しかったと思います。いただいたご意見は今後及び次年度の指導に生かしてまいります。

今回もICT機器を活用して、eメッセージ上でアンケートを実施しました。回答率は実家庭数の64%でした。

【肯定的傾向の回答の割合が高かった項目(80%以上)】

(肯定的傾向:「そう思う」「おおそう思う」)

Q1:「授業のねらい・見通し」 Q3-2:「授業でのICT機器の活用」

Q5:「学びの環境整備」 Q6:「礼儀・挨拶」

Q7:「福祉教育活動」 Q8:「道徳性の育成」

Q9:「行事での達成感・自己有用感」 Q12:「食育の推進」

Q13:「望ましい人間関係のある学級経営」

Q16:「アルカス運動・奉仕活動」 Q17:「防災教育」

全体的に高い評価をいただきました。1回目よりも肯定的な評価をいただいたことで、Q3-2・13で80パーセントを超えました。

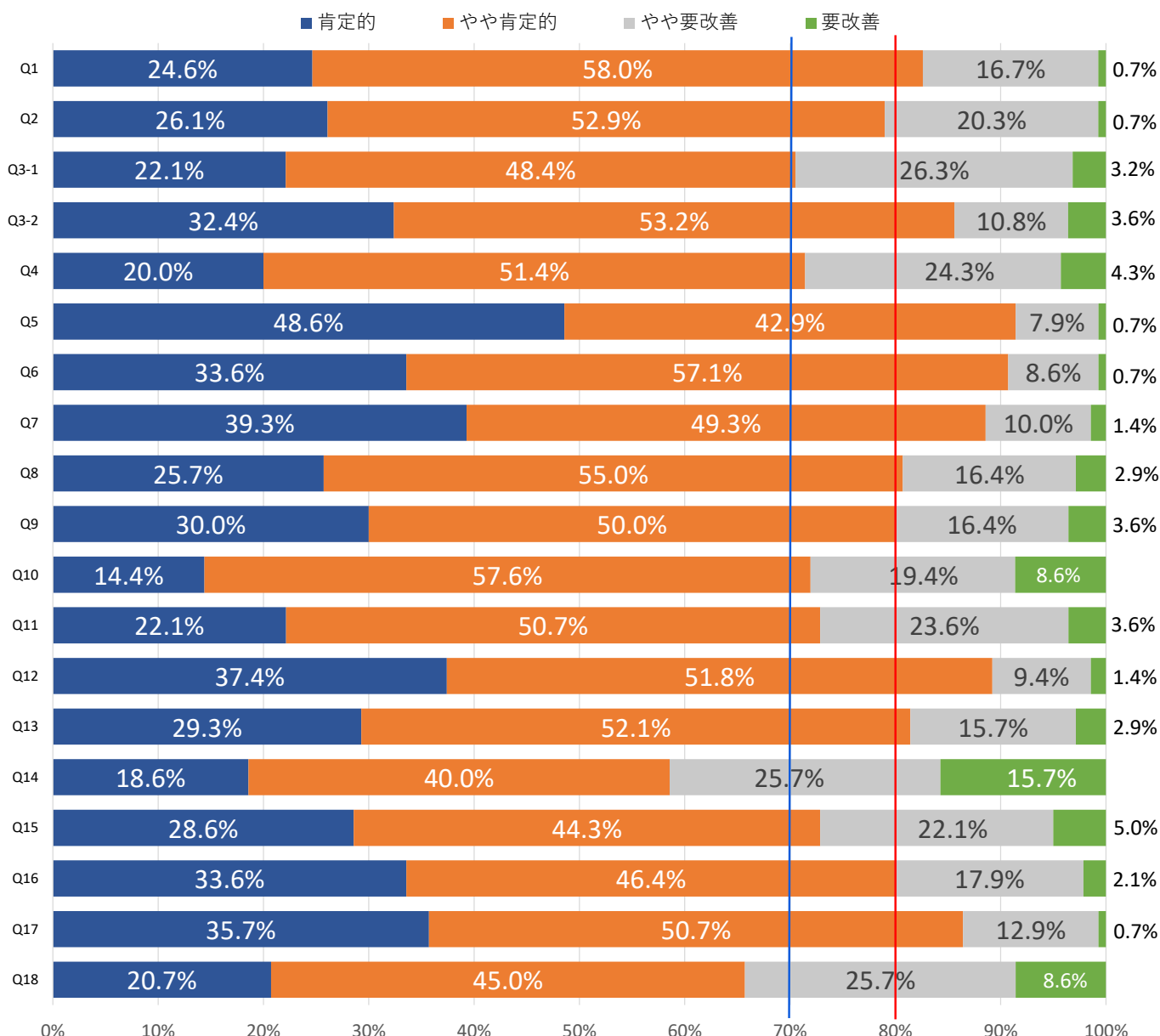
【肯定的傾向の回答の割合が低かった項目(70%以下)】

Q14:「部活動の取組」 Q18:「タブレット等の使い方、ネット依存の指導」

Q14は部活動のオフシーズン、Q18は使用頻度が上がることで指導の機会が増えたことが影響していると考えられます。

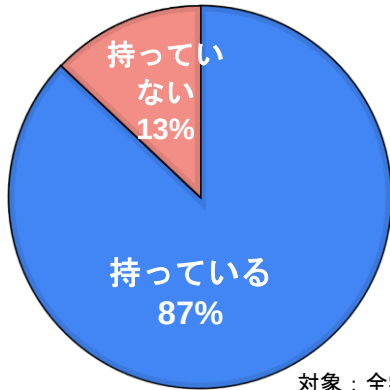
学校評価アンケート結果(対象:全学年保護者)

項目別回答割合



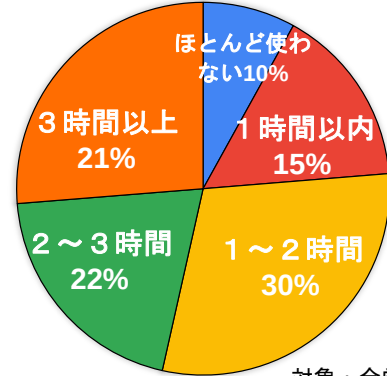
インターネット・SNS等の利用に関するアンケート結果

Q18-1. ふだん家庭でパソコンやスマホ等(i タブを除く) でインターネット, SNS等を利用できる機器を持っていますか。



対象：全学年生徒

Q18-2. パソコンやスマホ等, i タブ等でインターネット, SNS等をする時間は, 1 日にどれくらいですか。



対象：全学年生徒

i タブ以外の機器として, 家庭でパソコンやスマホ等の ICT 機器を所持している生徒の割合が, 1 回目よりも4ポイント増加しました。家庭において, i タブの利用も含めたインターネット・SNS等を利用している生徒は前回と同様9割となりました。1日1時間を超えて利用する生徒の割合は, 1 回目よりも減少しましたが, 特に3時間以上使用については5ポイント減少しました。

インターネット・SNS等の利用は日常的な行為として定着している中では, 利用の仕方が重要になります。社会に出たときのことを考えると, 賢く適切な利用や上手な付き合い方を身に付ける必要があります。パソコンやスマホ等を購入したときの, ご家庭での利用の約束・ルールについて, 改めて確認していただければと思います。

保護者からの声・まとめ(令和3年度・第2回実施分)

〈コロナ禍での保護者参加の行事等に関するご意見をいただきました。〉

→新型コロナウイルス感染拡大防止のために, 今年度も保護者の皆様に一斉に来校していただく機会を設けることができない状況が続いており, 心苦しく思っております。生徒たちが安全安心に学校生活を過ごせること, また, 生徒たちによる集団での学びや活動が以前に近い形で行えるようになることを最優先に考えて, 感染拡大防止の観点から, 多数の保護者の方が集まる機会をどのように設定できるのかを慎重に検討しているところです。併せて, 学校だよりや学校ブログ等も活用して, 学校の様子をより多くお伝えできるように努力してまいります。現在, 3年生の進路決定の大事な時期を迎えるとともに, 再び感染拡大が懸念される状況となっておりますので, ご理解いただければと思います。

〈i タブのご家庭での使用等に関するご意見をいただきました。〉

→学校では, i タブの使い方について, 単に取り上げたり, 使用制限をかけたりするのではなく, 自分を律して使えるように, 試行錯誤しながら根気強く指導を行っているところです。生徒たちは将来にわたって情報端末を日常的に使用していきます。ご家庭においても, 上手に賢く使えるようにお声掛け, 励ましをお願いいたします。ご心配やご不明な点がございましたら, 学校までご相談ください。

〈生徒の学習や部活動, 指導に関するご意見をいただきました。〉

→生徒への学習指導や生徒指導, 生徒への接し方などについてご意見をいただきました。また, 学校と保護者の方との間の円滑なやり取りについてのご意見もいただきました。生徒に学習内容や活動内容, 様々な指導の意図について分かりやすく伝えるとともに, 保護者の皆様にも丁寧に説明を行い, 連携してお子様の成長に寄り添っていきたいと考えております。学校として, アンテナを高くして, 教職員間で生徒の情報を共有し, 担任, 学年所属職員, 授業担当, 部活動顧問など様々な立場を通じて, 同じ歩調で対応できるようにより一層取り組んでまいりたいと思います。また, これまで以上に, 生徒の主体性や達成感, 自己有用感をどのように高めていくのかを考えながら指導に当たってまいりたいと思います。

アンケートへのご協力, 貴重なご意見, ありがとうございました。

令和3年度学校関係者評価委員からのご意見

岩沼市立岩沼北中学校

○2月14日（月）に開催予定でした学校関係者評価委員会（第3回学校評議員会）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参集による会議を中止といたしました。学校関係者評価委員の皆様には委員会資料を送付させていただき、学校評価アンケートの結果をもとにご意見をいただきましたので、ここに紹介いたします。

＜自ら学習する生徒の育成について＞

- ・北中学び塾は大変有意義で、(新型コロナウイルス感染症のために)最後まで開催できなかったことは残念でした。

＜読書活動の推進について＞

- ・電子メディアに置き換えられているのかもしれませんが、(利用冊数が目標よりも少なかったことが)少し残念です。

＜挨拶であふれる学びの環境づくりの推進について＞

- ・横断歩道で車を止めると、きちんとお辞儀を返してくれます。

＜食育活動の推進について＞

- ・給食が充実しているので、よい影響を与えていると思います。

＜主体的な部活動の取組の推進について＞

- ・顧問の先生からの保護者への対応・説明不足があるのではないかと感じます。そこが、(生徒と保護者アンケートの)対照的な結果になるのではないのでしょうか。

＜地域との関わりを大切にした体験活動の推進について＞

- ・コロナ禍のため、校外活動は仕方がないですね。

＜保護者・地域の信頼に応える開かれた学校づくりの推進について＞

- ・授業参観や行事を直接見ることができない状況ですが、毎日ブログで様子を知ることができて、ブログがなかった時より活動がよく分かります。

＜全体的なご意見＞

- ・アンケートの結果から、コロナ感染症の影響が色濃く見られ、様々な制限の中での学校運営にご苦労をお察しいたします。この状況下で、生徒の皆さんの健気な学校生活を垣間見ることができ、元気をいただいています。